

日本人

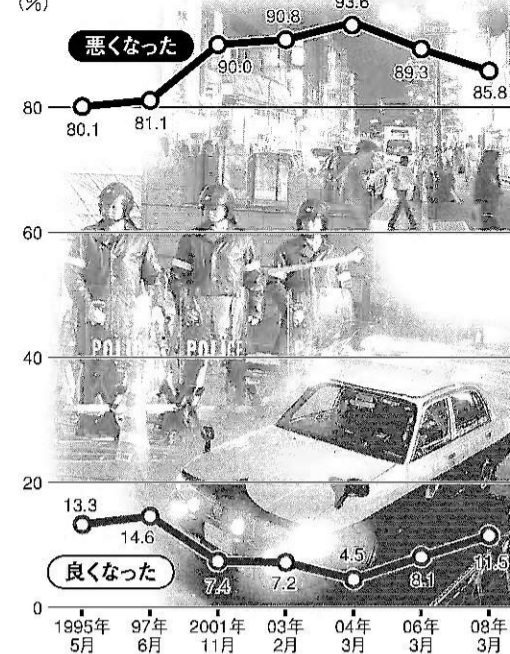
本社連続世論調査

「治安」をテーマにした読売新聞社の年間連続調査「日本人」では「自分や家族がいつ犯罪に巻き込まれてもおかしくない」という国民の不安が強くにじみ出た。安全をより確かなものにするため「ある程度のお金がかかっても防犯対策は必要だ」との考えが8割近くを占め、「治安は他国より良い」という答えは割合とどまらず、「治安の良い日本」という自国イメージは大きく揺らぎ始めているようだ。(世論調査部 小谷野直樹、平成20年2月)

「治安悪化」懸念広がる

町村部で91%にも

ここ数年で、日本の治安は…



「ここ数年の日本の治安については悪くなった」と「どちらかといえば」を含む(以下「悪くなった」を含む)が86%と高く、「良くなった」は12%だった。これを男女別に見ると、男性は「良くなった」が13%で「悪くなった」が84%、女性は「良くなった」が10%で「悪くなった」が87%となった。「治安は改善されず悪化するばかりだ」という懸念が女性に強くうかがえる。

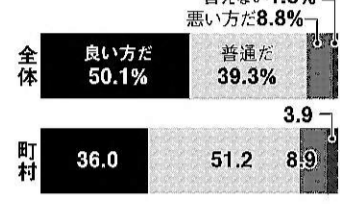
同じ質問は1995年5月に降7回行っている。「悪くなった」という答えは、最低でも80% (95年5月)で、高止まりしている。国民が即で感じる「体感治安」の悪化に歯止めをかけられないでいる。

7回の調査を分析したところ、都市規模別の町村で「日本の治安は悪くなった」と思う人が急増していることが明らかになった。

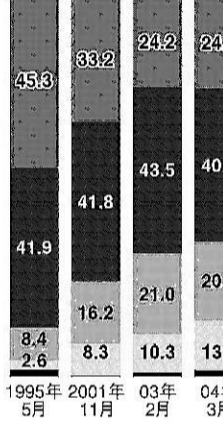
町村の「悪くなった」は今回91%で、95年5月の77%から14ポイント増えた。この間の変化は「悪くなった」が次いで多かった小都市でも10ポイント増、大都市では逆に1ポイント減となり、町村での「体感治安」の悪化が際立った。

こうした意識は日本の治安の現状認識にも反映した。世界の国々の中で、日本の治安が良い方だと思う人は全体で50%だったが、町村では36%にとどまった。これは都市規模別では最も低い数値だ。「良い方」は今回91%で、95年5月の77%から14ポイント増えた。最も高い大都市の57%とは20ポイントの差が生じた。

日本の治安は世界の国々と比べて



警察を信頼しているか



「警察を信頼」7割

警察を信頼しているかという質問(複数回答)を尋ねたところ、「信頼している」は68%で「どちらかといえば」は31%を上回っている。1995年5月の調査では「信頼している」が74%で、今回7割を下回った。年別では特に30歳代の落ち込みが激しく、27歳代の60%となった。20歳代(56%)で26ポイント、60歳代(68%)で22ポイントの減を記録した。

警察を信頼していない理由を複数回答で尋ねたところ、「警察官のモラルが低下している」が67%で最も多く、「警察内部の不祥事」が59%と続いた。モラルの低下を指摘する人は40歳代で82%、30歳代で74%と上り、30歳以上では1位だった。20歳代は不祥事を隠す体質が59%で最多だった。

「衝動的」「低年齢化」

最近の犯罪の傾向として問題だと思ふこと(複数回答)は「犯行が衝動的になっている」「凶悪化している」の順で多く、男女別でもこれら3項目が上位となった。ただ、順位は男性では「衝動的」が55%で最も多く、女性では「低年齢化」の60%となった。年代別でも上位3項目は「衝動的」「低年齢化」「凶悪化」で一致したが、20～50歳代では「衝動的」が最も多かった。60歳代は「詐欺などの知能犯が増えている」が52%と年代別で唯一5割を超した。

原因は「モラル」の低下が最も多く、全体の傾向と同じだった。女性は「モラルが低下」68%、「教育」48%、「犯罪情報」48%、「地域」47%と続いた。

国松孝次 警察庁長官



治安が悪くなったと思う人は全体で前回調査を下回った。ここ数年の犯罪の減少傾向を反映したものと思ふ。ただ、町村では逆に増えている。これには犯罪の地方化が進んだことが影響している。不条理で凶悪な犯罪が地方で目立つようになっている。

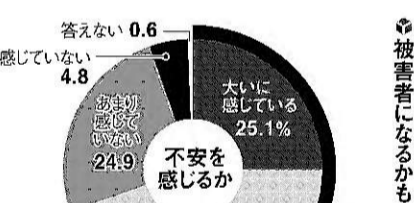
また、大きな背景として地方経済の活力が失われ、地方が疲弊しているというところがあるのではないか。刑法犯の認知件数は減少傾向にあるといっても、失業や自殺者の増加など社会が不安定な状態では、肌で感じる「体感治安」は改善されない。

国民の意識が「安全にはこたえなければならぬ」という方向に変わってきたのは、

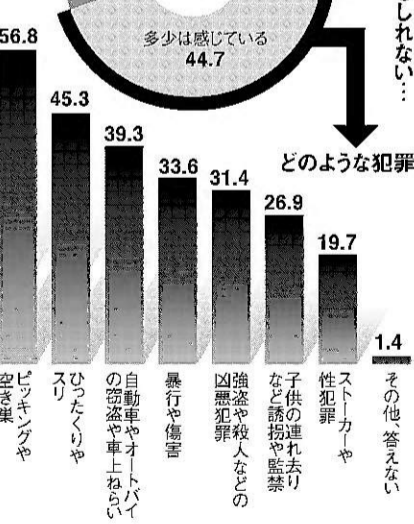
地域社会の再生を

日本人の伝統的な治安観の変化を意味するものと思ふ。これまで「治安とか安全はタダ。警察に任せておけばいい」と考えていたが、これからは「安全はタダではない」という意識が強まってきた。自分や家族が犯罪の被害に遭うかもしれないという不安が、警察に頼るべきという考えに変わってきている。警察は統制力という点で、日本を非常に危うくする。統制力という点で、極めて例外的なものにとどめておくため、警察は統制力への取り組みを強化すべきだ。再生する必要がある。

「被害者になるかも…」増す不安



30歳代が最多79%



安全に気配り8割超

自分や家族の安全を守るため、ある程度のお金がかかっても防犯対策が必要だと思ふかという質問は、79%が「そう思う」と答えた。「そう思う」は19%だった。「そう思う」は40歳代の86%が最も多かった。20歳代の84%、60歳代の80%が続く。30、50歳代も79%に上った。70歳以上は68%となった。年代別の傾向は、声掛けや「お金をかける必要がある」という考えが大半だった。

ただ、住んでいる地域によって意識の違いがうかがえた。都市規模別で大都市が最も高い82%となり、中核都市、中都市、小都市でも8割前後を記録した。町村では69%が開きがあった。自分や家族の安全を守るために気をつけていることの実行していること(複数回答)でも、都市規模別で違いが表れた。上位3項目は、いずれも「遅い時間や危険な場所への外出を避ける」が56.2%と最も多かった。2番目は「近所や不審者の情報に注意する」42.1%、3番目は「鍵を付け替えるなど住宅の防犯性を高める」28.3%、4番目は「地域の防犯活動に参加する」16.0%と続いた。

巻き込まれそうな犯罪は「詐欺」58%、「空き巣」57%、60%、「詐欺や悪徳商法」53%が続いた。年代別では30歳代で「子供連れ」の連れ去りなど誘拐や監禁」を挙げた人が47%と際立って多かった。「誘拐や監禁」が次いで58%、「ひたたくりやスリ」38%が上位だった。女性、他の年代は「誘拐や監禁」が45%の順だった。男女別では、性は「ビックキングや空き巣」にとどまった。

質問と回答 (数字は%)

- あなたは、この数年の間に、日本の治安は、良くなったと思ふますか、悪くなったと思ふますか。
 - 良くなった 2.1
 - どちらかといえば良くなった 9.4
 - どちらかといえば悪くなった 37.8
 - 悪くなった 48.0
 - 答えない 2.7
- 【前問で「悪くなった」と答えた人だけ】あなたは、治安が悪くなった原因は何だと思ふますか。次の中から、あれば、いくつでもあげて下さい。
 - 警察による防犯体制が不十分だから 25.7
 - 警察が凶悪事件を解決できないから 23.6
 - 犯罪に対する刑罰が軽すぎるから 44.3
 - 学業などの外国人が増えているから 40.3
 - 学校や家庭での教育に問題があるから 47.3
 - 地域のつながりが薄れているから 44.6
 - 社会全体のモラルが低下しているから 68.8
 - 犯罪につながるかわからない有害な情報があふれているから 43.0
 - その他、答えない 1.6
- あなたは、最近の犯罪の傾向として、どんな点が、くに問題だと思ふますか。次の中から、あれば、いくつでもあげて下さい。
 - 凶悪化している 53.5
 - 犯行が衝動的になっている 56.2
 - 銃を使った犯罪が増えている 25.1
 - 外国人による犯罪が増えている 39.0
 - 加害者の低年齢化が進んでいる 55.2
 - 老人や女性、子供などの被害が増えている 39.3
 - 身近な場所でも犯罪が増えている 28.6
 - 再犯者の事件が増えている 18.0
 - 詐欺などの知能犯が増えている 44.5
 - その他、とくにない、答えない 1.8
- あなたは、自分や家族が、何らかの犯罪に巻き込まれて、被害者になるかもしれないという不安を感じていますか、感じていませんか。
 - 大いに感じている 25.1
 - 多少は感じている 44.7
 - 全く感じていない 4.8
 - 答えない 0.6
- 【前問で「感じている」と答えた人だけ】あなたや家族が被害者になるかもしれないと思ふ犯罪を、次の中から、あれば、いくつでもあげて下さい。
 - 強盗や殺人などの凶悪犯罪 31.4
 - ビックキングや空き巣 56.8
 - ひたたくりやスリ 45.3
 - 暴行や傷害 33.6
 - ストーカーや性犯罪 19.7
 - 子供の連れ去りなど誘拐や監禁 26.9

- 詐欺や悪徳商法 57.8
 - 自動車やオートバイの窃盗や車上ねらい 39.3
 - その他、答えない 1.4
 - あなたは、自分や家族の安全を守るうえで、警察を信頼していますか、信頼していませんか。
 - 信頼している 24.8
 - どちらかといえば信頼している 42.7
 - どちらかといえば信頼していない 20.4
 - 信頼していない 10.9
 - 答えない 1.3
 - 【前問で「信頼していない」と答えた人だけ】あなたが警察を信頼していない理由を、次の中から、あれば、いくつでもあげて下さい。
 - 捜査能力が落ちてきているから 27.2
 - 警察官のモラルが低下しているから 66.8
 - 警察内部の不祥事を隠す体質があるから 59.3
 - 身の回りのトラブルに親身に対応してくれないから 47.3
 - 新しい種類の犯罪への対策が遅いから 22.9
 - 犯罪組織や集団への取り締まりが不十分だから 24.2
 - 容疑者への強引な取り調べを行っているから 23.8
 - その他 2.0
 - 答えない 0.5
 - あなたは、自分や家族の安全を守るためには、ある程度のお金がかかっても、自分自身で防犯対策をする必要があると思ふますか、そうは思いませんか。
 - そう思う 78.6
 - そうは思わない 18.9
 - 答えない 2.6
 - あなたは、自分や家族の安全を守るために、何か気をつけていることや実行していることがあれば、次の中から、いくつでもあげて下さい。
 - 遅い時間や危険な場所への外出を避ける 56.2
 - 犯罪や不審者の情報に注意する 40.3
 - 近所や声を掛け合う 42.1
 - 地域の防犯活動に参加する 16.0
 - 防犯ブザーなどを携帯する 14.5
 - 鍵を付け替えるなど住宅の防犯性を高める 28.3
 - 警備会社を利用する 4.2
 - その他 1.0
 - とくにない 13.3
 - 答えない 0.2
 - あなたは、現在の日本の治安は、世界の国々の中では、良い方だと思ふますか、悪い方だと思ふますか、普通だと思ふますか。
 - 良い方だ 50.1
 - 普通だ 39.3
 - 悪い方だ 8.8
 - 答えない 1.8
- 調査日=3月15、16日
調査方法=対象者=全国の有権者3000人(250地点、層化2段階無作為抽出法)
有効回収数=1,786人(回収率59.5%)
回答者内訳=男48%、女52%
14歳、40歳代15%、50歳代21%、60歳代23%、70歳以上18%
大都市(東京23区と政令指定都市)22%、中核都市(人口30万人以上の市)19%、中都市(人口10万人以上の市)24%、小都市(人口10万人未満の市)24%、町村11%